

## ●●●グループホーム個別情報●●●

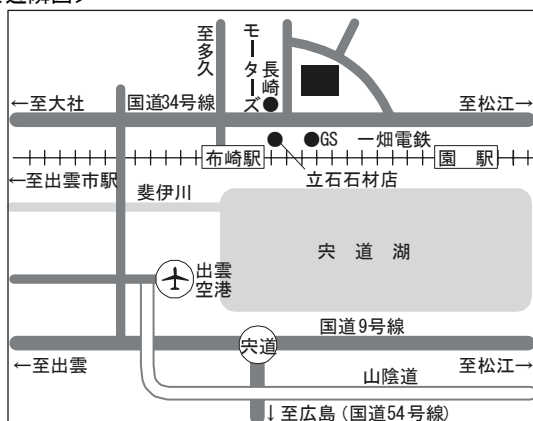
※掲載されております情報につきまして不明な点等ございましたら、直接ホームにご確認ください。

平成18年4月3日現在

### 1. 基本情報

グループホーム名	グループホーム るんびにい苑	所在地	〒691-0075 出雲市園町 2,606-1
開設年月日	平成12年11月1日	事業主体	社会福祉法人 真心会
代表者	理事長 飯塚 大幸	管理者	綿貫 深承
電話番号	(0853)67-0810	FAX番号	(0853)67-0457
E-Mail アドレス	runbinii@gaea.ocn.ne.jp	ホームページ	
協力(提携)医療機関	出雲市立総合医療センター	ユニット数と利用定員	(1)ユニット 利用定員(8)名
		現在入居者数	(8)名

#### <近隣図>



#### <建物の概観>



### 2. 事業の目的及び運営の方針

#### (事業の目的)

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な雰囲気の中で、食事・入浴・排泄等の世話及び心身の機能訓練を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことができるよう支援することを目的とする。

#### (運営の方針)

1. 本事業所において提供する認知症対応型共同生活介護は、介護保険法並びに関係する厚生省令・告示の内容に沿ったものとする。
2. 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、個別の介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービスを提供する。
3. 利用者及びその家族に対し、サービス内容及び提供方法についてわかりやすく説明する。
4. 適切な介護技術をもってサービスを提供する。
5. 常に、提供したサービスの質の管理・評価を行う。

### 3. 建物の概要

建物の形態	(木造平屋建て)造り( )
建物の構造	<input type="checkbox"/> 単独型 <input checked="" type="checkbox"/> 併設型
広さ	敷地面積(10,095)㎡ 延床面積(189.28)㎡ 1室あたりの居室面積(11.4)㎡
二人部屋の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

#### 4. 利用料等

介護保険 1割負担分				介護保険外 諸経費(標準)		
介護度区分	1日	夜間ケア加算1日 (夜間ケアが必要な方のみ)	月30日 (夜間ケア加算分を含む)	家賃	月30日	19,500円
要介護1	796円		23,880円	食材料費	月30日	44,400円
要介護2	812円		24,360円	光熱水費	月30日	15,000円
要介護3	828円		24,840円	シーツリース	月30日	2,100円
要介護4	844円		25,320円	理美容代		実費
要介護5	861円		25,800円	オムツ代		実費
				オムツ処理代		1,200円
保証金(入居一時金)	<input type="checkbox"/> 有( )円 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無					
保証金有の場合の償却の有無	<input type="checkbox"/> 有( )年 ・ <input type="checkbox"/> 無					

#### 5. 職員の概要

総数	(6)名 (内訳)・常勤専任(5)名 兼任(1)名 } 常勤換算(6)名 (内訳)・非常勤専任(0)名 ※職員の勤務時間を1週間あたり40時間とした場合の常勤換算数 ※職員の1週間の勤務延時間数240時間の場合 240時間÷40時間=常勤換算数(6人)
夜間体制	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任(兼任の施設等 ) <input type="checkbox"/> 夜勤( )名 <input checked="" type="checkbox"/> 宿直(1)名
管理者	<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任(兼任の施設等 特別養護老人ホームるんびにい苑) 資格(社会福祉主事、監査指導員) 認知症高齢者のケアの経験年数(5年3ヶ月) 認知症介護に関する研修の受講歴 ・認知症介護実務者研修 (基礎課程) <input checked="" type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講(専門課程) <input type="checkbox"/> 受講済 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講
計画作成担当者 (氏名 影山 陽子)	資格(介護福祉士、介護支援専門員) 認知症高齢者のケアの経験年数(13年9ヶ月) 認知症介護に関する研修の受講歴 ・認知症介護実務者研修 (基礎課程) <input checked="" type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講(専門課程) <input checked="" type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講
その他職員	資格 介護福祉士(5)名 看護師( )名 その他( ) ( )名 ・認知症介護実務者研修 (基礎課程) <input checked="" type="checkbox"/> 受講済(1名) <input type="checkbox"/> 未受講(専門課程) <input type="checkbox"/> 受講済 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講
(再掲) ホーム長 ※注 (氏名 )	資格( ) 認知症高齢者のケアの経験年数( 年 ヶ月) 認知症介護に関する研修の受講歴 ・認知症介護実務者研修 (基礎課程) <input type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講(専門課程) <input type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講

※「ホーム長」とは、グループホームの中で介護従事者に対する指揮命令権を管理者に次いで有する者を定めている場合にその者を指します。(定めていない場合は記載の必要なし)

## 6. 入居（者）の概要

現在の入居者の状態	入居人数(8)名 ・内訳 男性( )名 女性(8)名
	要介護1( )名 要介護2( )名 要介護3(4)名 要介護4(2)名 要介護5(2)名
	年齢(平均 87歳) (最低 79歳)(最高 95歳)
入居にあたっての条件	要介護者であって認知症の状態にあり、かつ次の各号を満たす者 1. 少人数による共同生活を営むことに支障がないこと 2. 自傷他害の恐れがないこと 3. 常時医療機関において治療をする必要がないこと
退居にあたっての条件	次の一に該当する場合は退去となる 1. 要介護の認定更新において自立もしくは要支援と認定された場合 2. 利用者又は利用者代理人が契約の解除を通告し、予告期間が満了した場合 3. 事業者が契約の解除を通告し、予告期間を満了した場合 4. 利用者が病気治療等、長期にグループホームを離れることが決まり、かつその移転先の受入が可能となった場合 5. 利用者が他の介護治療施設等への入所が決まり、その施設での受入が可能となった場合 6. 医療行為が常時必要となり、通常の介護では受入れが出来ないと事業者が判断した場合

## 7. 個人情報（プライバシー）保護に関する取り組み

プライバシー保護に関する 規程・マニュアル等の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無      (⇒今後の策定の予定 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 )
------------------------------	--

※ホームとして入居者の人格尊重の理念のもとに個人情報を取り扱うこと、個人情報に係る安全管理措置の概要、本人等からの開示等の手続き、第三者提供の取扱い、苦情への対応などの方針を明らかにした規程やマニュアルの整備

## 8. その他

家族の面会時間の設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有(8時～21時) <input type="checkbox"/> 無
入居者家族会の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (⇒今後の設置の予定 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 )
ホームと地域との関係や ホーム機能の地域への 還元の取り組み(方針)	地域の人達との交流としては、苑で開催する夏まつりやもちつき大会や合同避難訓練などの参加を呼びかけています。それと、小さな畑を作っていますが、近くの方に苗を頂いたり、育て方を教えてもらったりしています。地域の祭りに参加したり買い物に出かけたり温泉に行ったり、家族さんと一緒に遠足へ出かけるなど、苑外へ積極的に出かけて交流をもつようになっています。今後も少しずつ活動を拡げて、より地域との交流がはかれるようにしていきたいと思ひます。